

もくじ

- P10 平成22年第2回定例会議決事項
- P11 中西俊司副市長の横顔
- P12 「紙上政策談 No.3」
- P13 「紙上政策談 No.3」
- P14 常任委員会の動き
- P15 議会傍聴から見る市民の声
- P16 第2回定例会一般質問項目
- P17 議員会総会、林活議連総会、林活議連研修会、あとがき

議会です こんにちは



平成22年第2回定例会（6月1日から9日）で可決されました諮問1件、報告5件、議案7件、意見書案5件の内容を紹介いたします。

諮問

- 人権擁護委員の推薦について
 - ・浅沼 亮子氏（留萌市見晴町1丁目）適任
 - ・穂坂 孝史氏（留萌市幸町2丁目）適任
 - ・檜森 博仁氏（留萌市栄町2丁目）適任

報告

- 留萌市土地開発公社の平成21年度決算に関する書類及び平成22年度事業計画に関する書類の提出について
- 留萌港開発株式会社の平成21年度決算に関する書類及び平成22年度事業計画に関する書類の提出について
- 平成21年度留萌市繰越明許費繰越計算書について
- 専決処分の報告について（損害賠償について）
- 専決処分の報告について（留萌市税条例の一部を改正する条例制定について）

議案

- 平成22年度留萌市一般会計補正予算（第1号）
- 留萌市職員の育児休業等に関する条例及び留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市営墓地条例の一部を改正する条例制定について

- 北海道市町村備荒資金組合理約の変更について
- 留萌市副市長の選任について
 - ・中西 俊司氏（前産業建設部長）同意
- 留萌市公平委員会委員の選任について
 - ・中野 亨氏（留萌市寿町2丁目）同意

意見書案

- 食料供給力の確保に必要な農業生産基盤整備の促進を求める意見書
- 2011年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書
- 発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディアデジタル教科書の普及促進を求める意見書



7月1日、職員らに見送られる中、37年間勤務した留萌市役所に別れを告げた竹中貢前副市長。長い間、お疲れさまでした。ありがとうございました。

チームプレーで最大の成果 笑顔の補佐役・中西副市長の横顔

前任の竹中貢副市長と共に財政再建に力を注いできた中西俊司氏が、7月2日、副市長に就任いたしました。高橋市長の補佐役として手腕が期待される新副市長の声をお届けいたします。



自他から感じる留萌感

留萌生まれの留萌育ち、留萌から離れたことは一度もなく、生粋の留萌っ子です。心配は、留萌は一番知っているとも言えるのですが、他から留萌を見ることがなかったのを知っているつもりで実は知らないことが多いかもしれないということです。そういう意味では自分が見る世間は狭いと思っていますから、人の話しをよく聴くことを心掛けています。これまで、たくさんの人から留萌の良いところをたくさん聴いてきました。

優しい瞳と厳しさ

三人兄弟の三男です。みなさんからは、優しいと言われることがありますが、実は厳しい方だと思えますよ（笑）。中学、高校、一般とバスケットボールを続けていました。20代後半で止め、その後は市役所のチームでバレーボールをやっていました。球技が好きですね。個人プレーよりも団体プレーが好きです。団体プレーは、仕事にも重なります。実を言うと、そこが一番、職員に多く伝えてきたことなんです。ワールドカップで、岡田監督が「日本のサッカーがチームサッカーであることが証明できた」とコメントしていた言葉に共感し、感銘しました。一人ずつの個性が強くても、それを上手くまとめられた時に何倍もの力になります。一人が優秀であっても、その人が単独で物事を行ったかと言って、できることもあるけれど、みんなで作り上げていく達成感を感じたいです。何事もみんなだと

たくさんの友達

母は教育熱心でしたが、三男で自由奔放に育てられたと思っています。基本的に鍵っこだしから、片付けなど帰ったら何でもやらされた記憶がありますね。学生時代は、生徒会にも興味がなく、リーダーシップをとるタイプでもありませんでしたが、友達が多方面におります。

職員との接点を多くつくる

「いつでも部屋に行ってもいいんですか」と職員に言われ、役職が上に行けばいくほど、孤立していくのを感じました。ですから、会話のはずむ副市長室の雰囲気をつくり、自分から、どんだんみんなのところへ出かけて、みんなと話しをして職員との接点を多くしたいです。

高橋市長の補佐役として

留萌市としての財政再建の取り組みは当然であります。高橋市政二期目ですので、市長の政策をいかに実現できるようにしていくべきなのかを考えています。そこには必ず、健全化計画が第一にあり、その中でどうやって実現していくのかだと思っています。難しいのは、健全化計画の中で市民に負担をしていただ

昭和31年12月29日	留萌生まれ（53歳）
昭和50年	道立留萌高等学校普通科卒業
昭和50年	留萌市役所総務部財政課財政係
昭和55年	教育委員会総務課学務係
昭和61年	民生部保健年金課国民年金係
平成2年	総務部庶務課庶務係主任
平成6年	総務部庶務課秘書係長
平成10年	産業港湾部商工観光課観光係長
平成14年	経済部まちおこし推進室地域振興担当主査
平成15年	企画財政部企画調整グループマネージャー
平成18年	政策経営室長
平成20年	産業建設部長
平成22年7月2日	副市長に就任

いている部分をどのように回復していくかが今後の課題でもあり、市民が求めていることだと思います。事業仕分けではないですが、本当に復活が必要なのかどうかをきちんとみんなで議論していきたいと思っています。また、職員として当然の仕事ですが、市長が考える政策に対して、きちんと助言できるための資料づくりなどをしなければならぬと思っています。昔のようにビジョンが立てにくい社会情勢かもしれませんが、国の動き、道の動向を見ながらの自治体運営となり、最低限のライフレインを守るための必要な投資事業の組み立ても考えていく時、時代を見据えた高橋市政を一生懸命に補佐していくことを使命として頑張ります。よろしくお願いたします。

紙上政策談
No.3

市民を代表する16人の考え方(議席順に掲載しています。)



13 菅原千鶴子 議員【民主・市民連合】

【暮らしの安全安心
実現のために】

高齢者や生活弱者の方たちが安心して暮らせるまちをつくるために、さまざまな政策の提案をしてきました。実現したものや今後の研究課題となっているものがありますが、これからも市民権のまちづくりを目指してひとりひとりが幸せなまちを作るために活動します。



9 村山ゆかり 議員【萌芽クラブ】

【汗を流して働きます】

「自助・共助・公助」民間と行政による留萌市の協働のまちづくりが、実を結び始めました。国や道からの支援と合わせて、地域独自の生産性ある取り組みを積極的に推進していくための政策をつくり上げていきます。市民の声を聞き、市民と共に汗を流す議員を目指します。



14 野崎良夫 議員【民主・市民連合】

【ふるさと再生に全力投球】

市立病院経営に端を発した財政再建に、市民、市職員の協力のもと全力で取り組んでいますが、今、課せられている事は「人口の流出対策と巨額を投じた港湾の利活用」です。

この課題の見通しを立てる為、行政と市議会が一体となって、全力投球することです。



10 松本衆司 議員【萌芽クラブ】

【情報の共有】

マチの現状・現況について、皆が(市民、市職員、議員)正しい情報を共有すること。その上で正しい形でマチの再生を図ること。皆で丸となり進んで行くためには、私自身も身を粉にし議員としての責務を果たしたい。



15 坂本茂 議員【無会派】

【新財政健全化計画を
早期に達成】

産業振興と雇用の創出。「新財政健全化計画」は早期に軌道に乗せ、ふるもの再開はじめ休・廃止した諸施設の復活と職員の人件費20%削減の回復に努める。国の医療制度改革によって市立病院が負わされた20億円余の赤字は国に補填を求める。



11 天谷孝行 議員【留萌公明党】

【「街」に期待】

元気・活気・景気・働く場・安定生活・笑顔教育・子育て・安心医療・健康・長寿・介護・環境・防災・食育・観光

『街』に期待する『声』の代名詞です。
『期待』から『誇り』の代名詞へ・・・
この『声』を忘れないで、前進したい。



16 原田丈三 議員【無会派】

【定数削減と住民自治組織】

早いもので、留萌市議会議員の末席を汚すようになって3期12年目を迎えました。初当選の平成11年春、ちょうど時代は「右肩上がり」から「ダウンサイジング」への移行期でした。

その時代的潮流を虚心に読み解きますと、古里留萌の再生は「議員定数削減と住民自治組織の確立」に懸かっているとんでもない過言ではありません。



12 村上均 議員【留萌公明党】

【着実な達成を】

市の厳しい財政を打開すべく「新留萌市財政健全化計画・市立病院改革プラン」を各年度ごとに着実に達成させる事が第一と考えます。

そのためには其々が意識改革を進め、歳入の強化・歳出の抑制を図り、行政が情報共有を更に住民と進め、地域産業の育成と協働の街づくりを進めるべきと考えます。

紙上政策談
No.3

市民を代表する16人の考え方(議席順に掲載しています。)



5 珍田亮子 議員【萌政会】

【自分が住みたいと
思えるまちづくりへ】

今こそ、市民との「情報共有」「市民参加」「協働」の理念に基づく留萌市自治基本条例の議会の役割と責務を具現化しなければなりません。

「元気のあるキラリ留萌」の実現をめざし「人づくりはまちづくり」を推進し、その環境整備に懸命に取り組みます。



1 江澤順次 議員【萌政会】

【がんばれ!! 市立病院】

多額の不良債務が発生して以来、市長、院長他スタッフが日夜懸命に頑張っているのに感銘をした。問題は今年度の運営次第だ。

もう一度、自主財政再建計画とはどういうものなのか皆さんで考えてみる必要があると思います!!



6 原田昌男 議員【萌政会】

【郷土ルモイのまちづくり】

「財政健全化計画」と「市立病院改革プラン」の着実な実施を目指してまいります。郷土ルモイのまちづくりのため、初心を忘れることなく議員活動をしてまいります。

市民の皆様の健康増進のため、健康の駅(コホートピア構想)の利用をお願い申し上げます。



2 笹本牧司 議員【萌政会】

【留萌を元気に!】

「留萌を元気に!」そんな想いを持って臨んだ補選から5ヶ月、6月に最初の提言をしました。

今後も日々勉強、確認を怠らず留萌を元気にするために新しく、厳しい視点(市民目線)に立って行政に提言を継続します。



7 野呂照幸 議員【民主・市民連合】

【中心市街地の活性化】

中心市街地の空き店舗・空き家・空き地の利活用対策は、色々な角度からの検討が必要です。空き店舗・空き家・空き地での高齢者向け福祉住宅の建設事業や空き店舗・空き家の高齢者向けリフォーム事業など「街なか居住」の促進が必要です。



3 小野敏雄 議員【萌芽クラブ】

【将来に希望を持てる市政を】

留萌市立病院改革を着実に進めて、一日でも早く財政再建をする事が大事です。その上で、多くの市民負担を軽減し、市民が安心して、将来に希望を持って楽しく暮らせる街にするために活動していきたいと思えます。



8 坂本守正 議員【民主・市民連合】

【これからの議会の方向性】

議会は、政策立案と監視機能の役割を担う。議員提出条例などの政策立案機能を重視することが重要であり、自治体の場合、条例を首長が提出しており、今後、条例を提出する議員及び議会事務局体制の育成・課題等その動きを支援する制度化が必要であると考えます。



4 富田直樹 議員【萌芽クラブ】

【新たなステージへ】

財政健全・病院改革の進捗と効果を市民目線で検証していくことはもちろんですが、高橋市政第2ステージにおいて、マチの未来に希望がもて、新たな可能性につながる「元気な政策」がより実践されるよう努めてまいります。

議会傍聴から見る市民の声

議会広報特別委員会では、定例会を傍聴された方から寄稿していただきました感想文を議会だよりで掲載しているところですが、この度、90号から95号に掲載されました「議会へ行こう」の声を集約しました。市民の多くの意思を踏まえながら、議会機能の充実を図っていききたいと思います。ありがとうございました。

＜傍聴された市民の皆様からたくさんの意見をいただいております。今後も一人でも多くの方が議会を訪れていただきますようお願いいたします＞

質問について

- 質疑応答は、台本を読んでいる印象。読み上げるのに予定時間の半分も費やすのはどうか。内容ある質の高い質疑応答を期待します。
- 類似する一般質問が多い。各会派連携の上、簡素・明瞭に運んでほしい。
- 「発言の機会を与えていただいたので」から始まるが必要ない。もっと内容の充実を！

答弁について

- 担当課で作成した答弁書を読まれているが、市長自身の本音が聴きたかった。
- 市長だけでなく、担当者ももっと答弁した方がいい。

一問一答について

- 一問一答は、大変分かりやすい。議論に具体性が出て、短い時間で傍聴者に大変分かりやすい。

議員定数について

- 20年ぶりの傍聴で、議員削減が進みコンパクトになっていることに驚いた。これ以上少なくなると「市民の声」が市政に反映されることに影響が出る。



身近に感じる議会づくり

- 議会には、行政のチェック機能を十分果たす義務があり期待している。議会を直接傍聴できない時には、市役所ロビーのテレビを観る。一人でも多くの人に議会を聴いてもらえるとしたらラジオかもしれない。留萌には「まちの聞こえる回覧板」エフエムもあるがある。ほんの一文でも一声でも伝わってくる。
- 学生にとって議会を傍聴することで受ける刺激は大きく、いろいろな気づきがある。しかし、平日の昼間開催では傍聴者は少ない。
- 議会傍聴に興味があっても敷居の高さに負けてしまう。もっと身近に感じてもらうための議会ツアー企画を立ててみては。
- 高校など、学校授業に組み入れて、子どもたちの見学を増やしてみてもどうか。

議場の環境整備について

- ブラインドを下ろした蒸し暑い空間で、議場の室内環境が悪い。
- 議場に季節の花が一輪あってもいい。意見を戦わせる場に花は必要ないと思うけど、環境の良い議場を作り上げてみては。

常任委員会の動き

「第1常任委員会」(人・まちづくり委員会)
「第2常任委員会」(くらし・健康づくり委員会)

第1常任委員会

《平成22年4月23日開催》報告及び審議事項(抜粋)

【総務部】

- 平成22年4月人事異動について
- 平成21年度市税収納状況
- 留萌市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分

【政策経営室】

- 「市民アンケート2010」の実施について

【産業建設部】

- 平成22年度「うまいよ！るもい市」開催日程について
- 平成22年度・23年度の大会・イベント等の概要について
- るもいプラザ「まちなか賑わい広場」の開設について
- 都市計画道路「(仮称)見晴通」のスケジュールについて

【教育委員会】

- 平成22年度市立小・中学校学級編成について
- 平成21年度教育所管施設等に対する地域貢献の状況について

第1常任委員会現地視察

- 西5号通り改修事業など都市整備現場
- あかしや7号棟など公営住宅
- 副港周辺整備事業現場 ほか



三泊漁港の畜養施設を見学

《平成22年5月20日開催》報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市職員の育児休業等に関する条例及び留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について

【政策経営室】

- 平成22年度市民アンケートの実施について
- 営口友好港湾締結20周年に伴う訪問事業について

【産業建設部】

- 公立はこだて未来大学と新星マリン漁業協同組合及び留萌市との水産業の振興及び相互発展に関する包括連携協定について

【教育委員会】

- 学校ICT(情報通信技術)整備状況について
- 平成23年度から小学校で使用する教科用図書を選定について
- 高校配置計画についての中間報告について

第2常任委員会

《平成22年4月19日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

- 留萌市地域公共交通総合連携計画について
- 市営墓地の使用の申込について
- 町内会協働推進委員会の開催結果について
- 不用品等リサイクル事業について
- クリーンステーションの設置について
- 平成21年度水道料金収納見込

第2常任委員会現地視察



沖見配水場(新築ポンプ井と管理棟)視察

【健康福祉部】

- 新型インフルエンザに係るワクチン接種状況及び今後の対応について
- 介護・疾病リスク早期検出調査事業実施結果について
- るもい次世代育成支援行動計画(後期計画)について

【市立病院】

- 平成21年度～22年度医師体制
- 平成21年度病床利用率等について
- 留萌市病院事業使用料及び手数料条例制定に伴う主な料金設定について

《平成22年5月18日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

- 留萌市営墓地条例の一部を改正する条例制定について
- 専決処分の報告について(損害賠償)
- 平成22年度第2回国民健康保険運営協議会の開催結果について
- 平成22年度第2回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果について

【市立病院】

- 平成21年度病院事業会計決算(案)の概要について
 - ・実質単年度収支で、赤字6240万9千円の見込み
 - ・6月上旬に市立病院改革プラン推進状況を報告
 - ・6月開催の市政懇談会において、経営状況を説明
 - ・今後のドクターの動きについて
 - ・病床数は、一般病床248床と療養病床の50床のうち35床を回復期リハビリ病棟に休床中の52床のうち30床を亜急性期病棟に変換する方向で検討中
 - ・平成21年度病床利用率は71.4%

平成22年第2回定例会

一般質問の頂上のみ
ご紹介いたします

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

- 1 留萌市の人材育成
 - (1) 新たな組織体制に期待すること
 - (2) 目標管理制度と評価制度の導入
 - (3) 財政健全化計画の進捗と職員給与
- 2 経済活性化について
 - (1) 具体的政策と成果
- 3 市立病院改革プランの達成度から見た現状と課題
 - (1) 病院職員満足度と職場の醸成
 - (2) 管理者と職員の直接対話
 - (3) 職員提案制度の成果
 - (4) 電子カルテ導入など医療情報システムの活用
 - (5) 医療機器の整備
 - (6) 病床利用率と看護体制
- 4 留萌市における特別支援教育の現状と課題
 - (1) 特別支援教育推進事業の目標と推進内容
 - (2) 特別支援教育を受けている児童生徒の推移
 - (3) 支援員及び介助員の配置

菅原千鶴子 議員
(民主・市民連合)

- 1 市立病院の課題と市民期待
 - (1) 医師確保対策
 - (2) 在宅医療と管内医師会との連携
- 2 介護保険制度と留萌市の課題
 - (1) 課題分析
 - (2) 独居と支援
- 3 まちなか賑わい創出事業の今後の展望
 - (1) 交流拠点の役割
 - (2) 宅配事業の事業化
- 4 観光と安心安全の街づくり
 - (1) 通年観光の展望
 - (2) リピーターと定住策



坂本 茂 議員
(無党派)

- 1 津波浸水防災対策について
 - (1) 津波ハザードマップの作成を急ぐこと
 - (2) 地域の状況に合わせた防災訓練の実施を
 - (3) 市の防災体制について
- 2 林業振興について
 - (1) 市有林の現状と振興計画雇用の場を
 - (2) 私・市道・国有林事業の連携と振興計画について
- 3 急ぐべき課題
 - (1) 住宅改修促進助成事業の再開を
 - (2) 「旧留萌佐賀家漁場」並びに「ニシン漁撈用具」の防火対策



天谷 孝行 議員
(留萌公明党)

- 1 安心医療の提供、「地域センター病院」について
 - (1) 常勤医師の確保と診療体制の現況
 - (2) 病院運営と「改革」推進の見直し
 - (3) 遠隔医療システムの整備と運用
- 2 都市計画道路「(仮称)見晴通」整備事業について
 - (1) 整備計画の経過と概要
 - (2) 整備事業の必要性と整備効果
 - (3) 計画の推進に関する今後の取り組み
- 3 女性のがん検診、無料クーポン事業について
 - (1) 2009年の事業成果
 - (2) 2010年の事業取り組み

坂本 守正 議員
(民主・市民連合)

- 1 季節労働者の生活と雇用安定の取組みについて
 - (1) 雇用保険の短期特例一時金の50日復活について
 - (2) 通年雇用促進支援事業の見直しと充実を図る取組みについて
 - (3) 短期就労支援事業の取組みについて
- 2 都市計画道路「(仮称)見晴通」について
 - (1) 都市計画決定に向け「新

たなスケジュール」等について

- 2 市民合意に向けての取組みについて
 - (3) 都市計画変更の決定に向けての環境整備について
- 3 「フッ化物洗口普及事業」の実施について
 - (1) フッ化物洗口普及事業指定校募集について
 - (2) フッ化物洗口の安全性について
- 4 学校給食業務委託導入について
 - (1) 食材料・調理に関し安全・安心の確保について
 - (2) 学校給食の意義と重要性について



笹本 牧司 議員
(萌政会)

- 1 財政健全化計画
 - (1) 1年経過後の検証
 - (2) 今後の計画管理
- 2 地域の活性化
 - (1) 観光インフラの整備
 - (2) スポーツイベント
- 3 留萌駐屯部隊対応
 - (1) 留萌駐屯地の存続
 - (2) 駐屯地に対する支援

留萌市議会議員会総会

6月9日、議場において議員会定期総会が開催され、22年度の事業計画及び予算を決定しました。

議員会は、会員（議員）相互の資質向上と親睦融和を図ることを目的に活動しています。今年は、8月7日のやん衆あんどんパレードへの参加議員スポーツ交流会などを行います。

留萌市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会

6月9日、議場において林活議連定期総会が開催され、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進と森林・林業・林産業の活性化に向けた取り組みを進めていくことを決定しました。

今年度の事業としては、北海道の森林状況などについての研修会の開催や「育樹祭」への参加、道北林活議連及び全道林活議連が開催する各種会議等への参加を予定しています。

森林王国が目指す人づくり、社会づくり

留萌市議会林活議連の研修会が6月29日、海のふるさと館において開催され、『北海道の森林状況と展望』について学びました。

講師は、北海道水産林務部総務課企画調整担当課長の松尾博さん。

(要約)北海道の森林率は70%。森林面積は554万haで全国の22%を占める。道民1人あたり森林面積は1haで全国の5倍。天然林の割合が47.1%で全国一高く、「森林王国」と言える。森林の所有形態は、国有林55%、道有林11%、市町村林34%。林種別の森林面積:天然林371万ha(67%)、人工林150万ha(27%)、無立木地33万ha(6%)。北海道は全国(41%)に比べ天然林が多い。



人工林の樹種は、トドマツ、カラマツが主体(全国ではスギ、ヒノキ)で、トドマツは10年後に主伐時代が到来する(標準伐期齢50年)。木材自給率は50%(全国25%)。

<北海道の森林の展望>①人工林資源を循環的に育て活用する。②天然林資源を守り育てる。③道民皆で森林を育てる。④木育を全道各地で展開する。

<森林の二酸化炭素吸収量>80年間の1ha当たりの吸収量は、スギ人工林で約170t、ブナ主体の天然林で約100t、十勝カラマツ人工林で約140t。若い時期の森林は、吸収量が大きい(20~30年がピーク)。成熟するにつれ、光合成による吸収と呼吸による排出がほぼ等しくなる。

<北海道生まれの新しい理念>子供をはじめとするすべての人が、木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森とのかわりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育(もくいく)」に力を入れ、森林や樹木・木材を活かした人づくり・社会づくり・文化づくりを行っていく。

議会広報特別委員会から

この六月定例会においても、一般質問6人の多くが新財政健全化・市立病院改革プランについて理事者と議論を交わしました。中でも市立病院の経営状況・病床利用率・医師の確保など改革プランの達成状況の質問が多く、プランを達成するためには、やはり医師確保が大きなカギとなることが分かります。

病院経営においては、泌尿器科の一部診療や皮膚科・形成外科・耳鼻咽喉科などの出張医体制の充実など、市民が安心して診療が受けられる体制づくりが課題となります。

病院改革プランの着実な達成を目指し、一日も早い財政健全化を図っていくことが大事であると考えます。

委員長 村山ゆかり/副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹

留萌市議会事務局

☎ 0164・42・1907 (直通) ☎ 0164・43・6700
E-mail rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp